

## 第 3 次日高市行政改革大綱「個別改革事項」の総括について

### 1. 日高市行政改革大綱の策定

日高市では、厳しい行財政環境や、社会経済構造の変化が激しい中においても、自立的な行政運営を行っていくため、平成24年度から平成27年度までを計画期間とする日高市行政改革大綱「個別改革事項」実行計画（アクションプラン）に取り組んできました。

今回、計画期間が終了したことに伴い、取組みの実績等を取りまとめましたので、報告します。

#### 日高市行政改革大綱「個別改革事項」実行計画（アクションプラン）の概要

##### 《目的》

市を取り巻く環境の変化により新たな課題が生じていることから、時代に即した行財政運営に向けて、常に改革・改善を図ることを目的とする。

##### 《体系》

市全体にわたる事項で重点的に改革を進めるべき事項を「個別改革事項」として定め、全庁的に取り組むとともに、新たな課題に迅速に対応できるよう適宜見直しを行う。

### 2. 個別改革事項（アクションプラン）の取組実績について

#### ①公共施設の利用料金・開館時間・開館日の見直し

最終目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の利用料金の設定及び減免に係る基本方針の策定</li> <li>・開館時間及び開館日の見直し方向の決定</li> </ul>
最終実績	<p>公共施設の利用料金に係る市民アンケートの実施及び調査研究（公共施設の老朽化対策と一体的に実施）を行い、市民ニーズを踏まえて見直しを行いました。</p> <p>【参考】開館時間・開館日の変更：文化体育館「ひだかアリーナ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日曜日：午前9時～午後5時⇒午前9時～午後9時</li> <li>○毎週月曜日休館⇒第1・3月曜日休館</li> <li>○指定管理者制度の導入⇒文化体育館「ひだかアリーナ」、日高総合公園</li> </ul>

#### ②補助金及び交付団体の見直し

最終目標	補助金交付額の見直しを図るとともに、補助金支出の基準を定め、補助金及び交付団体の適正化を図る。
------	---

最終実績	補助金交付団体の現状把握、課題の整理及び関係課所会議を開催し、「日高市補助金に係る交付基準」の策定を行い、要綱の制定が必要となる事業について、補助金交付要綱を制定しました。
------	--

### ③公共施設の老朽化対策

最終目標	ファシリティマネジメントを活用し、公共施設の維持管理の適正化や長寿命化を図り、施設の更新を計画的に進めるため、公共施設等総合管理計画の策定及び個別管理計画の策定を行う。
最終実績	市の公共施設等の現状をまとめた「日高市公共施設等白書」に加え、公共施設の日常点検を目的とする「施設管理者点検マニュアル」を作成しました。 また、職員プロジェクトチームを設置するとともに、市民の意見を取り入れるため、市民ワークショップを開催し、「日高市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

### ④未利用市有地の売却及び貸付の推進

最終目標	未利用市有地の積極的な有効活用（売却や貸付）を行うことで、市の歳入の増加を図る。
最終実績	関係課所会議及び日高市未利用市有地等検討委員会を開催し、基本方針の作成及び活用方法の検討を行うことで、売却可能な財産については積極的な処分が進められました。 <b>【参考】</b> 平成26年度処分実績：土地売却6件5171.43㎡（223,051,000円）

## 3. まとめ

「個別改革事項」（アクションプラン）に基づく取組みは、全体として、ほぼ順調に進めることができ、持続可能で安定的な行財政運営を推進できました。

しかしながら、少子高齢化の進行による社会保障費の増加や老朽化する公共施設の更新等に係る費用の増加、人口減少の進行等による歳入の減少など、市の財政運営を取り巻く環境はさらに厳しくなることが見込まれます。

これらを踏まえ、今後とも、質の高い行政サービスの提供と、積極的な政策展開の下支えのため、大胆かつ徹底した行財政改革の取組を、全ての職員が一丸となり積極的に進めてまいります。